

第1回 IEEE Tokyo GOLD企業見学会

The 1st Student Transition & Elevation Partnership (STEP) Event in Tokyo

日時：2011年2月9日(水) 15:00～18:35
場所：ボッシュ株式会社 横浜事務所
定員：50名(先着順)
参加費無料



「自動車×電気・電子」セミナー@Bosch

ボッシュの歴史、それは社員ひとりひとりのサクセス・ストーリー

<<概要>>

昨今、自動車産業を含め、産業界全体で電気電子分野の人材が必要とされています。本イベントでは、IEEE会員(学生を含む大学関係者のみ)を対象に、企業見学会を通じて、電気電子分野のエンジニアとしてのキャリア構築に対する意識を高める事を目的としております。なお、**非会員の方で参加希望の方は、当日までに<http://ewh.ieee.org/sb/tokyo/sut/>より会員登録をお願いします。**また、この3月に卒業予定のIEEE学生会員の皆様には、実際の現場で活躍している技術者との交流を通じて、社会人となるための直前の最後の準備に役立てて頂きたいと思っております。

最新の情報は、<http://www.ieee-jp.org/tokyogold/index.html>より御確認下さい。

<<『電気・電子系が主役になれる業界』>>

話題のハイブリッド・カー、次世代の主流と言われる電気自動車。これまでエンジンとガソリンで動いていた自動車も数年後にはモーターで動くようになると誰もが想像されていることでしょう。現在の自動車も燃費向上、環境負荷低減、より高い安全性の為に電子制御技術の更なる開発が行われており、自動車の開発にとって、電子技術は不可欠なものとなっております。自動車業界は「電気・電子系が主役になれる業界」なのです。

<<ボッシュ株式会社における「自動車技術と電気・電子技術の接点」>>

ボッシュは1967年の「自動車用電子制御ガソリン噴射システム」にて自動車の電子システム化の先鞭をつけて以来、自動車の電子制御技術で常に先頭を走ってきました。その豊富な経験から今回はIEEEの皆様へ自動車技術に活かすことのできる電気・電子技術の接点をお見せしたいと思います。

<<当日のスケジュール>>

《日時》 2011年2月9日(水) 15:00～18:35

《場所》 ボッシュ株式会社 横浜事務所 (http://www.bosch.co.jp/jp/rbjp/key_data/pdf/yokohama.pdf)

15:00～17:35 ボッシュ横浜事務所施設見学会

17:35～18:35 電気電子分野のボッシュ技術者との交流会(ドリンク、軽食をご用意いたします。)

《内容》

■車体制御部門から

ボッシュの車体制御部門は、1978年に世界で始めて市場へ投入したABSを初め、欧米では4.5t以下の2012年以降の新車に標準装備が義務付けられるESC(横滑り防止装置)といった自動車制御の先端技術を開発しています。これからは、それらの制御技術ノウハウを生かし、ハイブリッド・カー、電気自動車との協調制御をすることによって、より高い安全性を実現するための技術にも取り組んでいます。

①ハードウェア・イン・ザ・ループによるソフトウェア検証

(車両モデルを考慮したシミュレーション装置によるソフトウェア検証)

プレゼンテーション、シミュレーション設備見学

②電波障害、電氣的ノイズに対するハードウェア・ロバスト性評価

(実車を模擬した環境化での様々な電波障害・電気ノイズへの耐性評価)

プレゼンテーション、ハードウェア評価設備見学

■エンジン制御部門から

①モデルベース・ディベロップメント(予定)

電気・電子系の皆さんの自動車業界での可能性を是非感じて頂ければと思います。



参加申込先: a.nakamura@ieee.org または ieee.sb.tus@gmail.com

担当: IEEE 東京理科大学 Student Branch : 中村 聡 (3日以内に確認メールが届かない場合は、再度お申込み下さい。)

氏名・所属・e-mailアドレス・IEEE会員番号・会員種別(正会員or学生会員or非会員)を**1月31日(月)までに上記e-mailアドレスまでお申し込み下さい。**なお、当日の参加者は**IEEE会員の学生および大学関係者のみに限ります。**

本件問い合わせ先: yasuharu@ieee.org または yasuharu@mail.dendai.ac.jp (IEEE Tokyo GOLD Chair 大越康晴)

主催: IEEE Tokyo GOLD Affinity Group, 共催: IEEE 東京理科大学SB、明治大学SB、東京電機大学SB